

中古文学会 2026 年度春季大会 開催案内

【重要】 会員のみなさまへ

2026 年度中古文学会春季大会の開催形態につきましては、常任委員会において協議した結果、下記のようにすることといたしましたので、お知らせ申し上げます。ご了承の上、ご参加いただきたくお願い申し上げます。

記

- (1) 春季大会は、全プログラムを対面にて開催します。参加にあたり事前申し込みを原則としますが、会員の場合、事前申し込みなしでも当日の参加を受け付けることとします（大会参加費として1,000円を現金でお支払いいただきます。釣銭の必要がないようご配慮ください）。
- (2) 現地参加が困難な方々のことも勘案し、シンポジウム・研究発表等を録画しまして、大会日程終了後、事前申し込みをされた会員に限り視聴できるようにします（学会ポータルデスクの協力を得て録画いたしますが、画質・音質等の保証はできません。また、研究発表については録音のみの場合もあります）。なお、視聴後に質問等を行うことはできません。
- (3) 1日目に開催する懇親会への参加を希望される方は、同封の振込票によって事前申し込みを行ってください（事前申し込みが原則です）。懇親会費は、一般会員 9,000 円、学生会員 4,000 円です。なお、懇親会の形態は今後の状況によって変更となる場合があります。また、振り込まれた懇親会費は、懇親会が中止となった場合以外、返金できません。ご了承ください。
- (4) 2日目の昼食（お弁当）の販売を行います。希望される場合は、同封の振込票によって申し込みを行ってください（当日の申し込みはできません）。昼食代（お茶付）は、1,500 円です。
- (5) 現地参加の場合、同封の振込票によってなるべく事前申し込みを行ってください。録画視聴を希望される場合は、上記（2）のとおり、事前申し込みを必須とします。いずれも大会参加費（資料集代を含む）は1,000円です。なお、「資料集」のPDFによる配付は行いません。
- (6) 事前申し込みをされた方には、大会の前（6月中旬を予定）に「資料集」と「録画視聴の案内」を郵送します。現地参加の方は、「資料集」を会場に持参してください。また、録画視聴の方は、大会日程終了後に「録画視聴の案内」にしたがって視聴してください。
- (7) 今後の感染拡大などの状況によっては、大会の全プログラムを遠隔開催とすることもあります。開催形態を変更する場合は、6月上旬までに学会公式サイトに掲載します。
- (8) 会員外の方も、学会 HP からの事前申し込みによって現地参加ができることとします（ただし、懇親会参加、昼食の注文、録画視聴は不可）。大会参加費（1,000円）については、当日の受付にて現金でお支払いいただきます（釣銭の必要がないようご配慮ください）。

そのほか、最新情報は学会公式サイトを通じてお知らせします。本件に関する事務局・会場校への個別の問い合わせは、お控えくださるようお願い申し上げます。 中古文学会事務局

中古文学会公式サイト <https://chukobungakukai.org/>

大会日程・大会会場

大会日程	6月27日(土) 13:00~17:20 シンポジウム	〈受付〉12:30 受付開始 (18:00より懇親会)
	6月28日(日) 10:30~14:50	〈受付〉10:00 受付開始
	研究発表会(午前)、委員会、研究発表会(午後)	
大会会場	国際基督教大学 ディッフENDORFファー記念館講堂(シンポジウム) トロイヤー記念アーツ・サイエンス館 T-171 教室(研究発表会) 〒181-8585 東京都三鷹市大沢3丁目10-2	
懇親会会場	国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス・大学食堂	

大会参加要領

1. 大会参加費

- ・参加費(資料集代を含む)：現地参加、録画視聴いずれも1,000円
 - ・懇親会：一般会員9,000円、学生会員4,000円
 - ・昼食代(2日目)：1,500円
- ※入金された参加費の自己都合による返金、または他の参加者への付け替えなどには応じられません。
- ※領収書は、振込受領証に替えることとし、基本的に別途発行いたしません。

2. 申込方法

- ・大会参加申込フォーム(別紙参照)よりお申し込みのうえ、同封の振込票による入金をもって申し込みを承ります。必要事項をご記入の上、上記の額をご入金ください。
- ・加入者名 中古文学会大会実行委員会
- ・口座番号 00240-3-99727

3. 会員外の方の 申込方法

- ・学会公式サイトより申込締切までにお申し込みください。
- ・申し込み時にご記入いただいた個人情報は、本大会の運営管理にのみ使用させていただきます。
- ・参加費(1,000円)は当日会場受付にて現金でお支払いください(釣銭の必要がないようご配慮ください)。

4. 申込締切

2026年5月29日(金)

- ※締切後の申し込みは承ることができません。
- ※締切後の入金は固くお断りいたします。

5. 住所・所属等 の変更

- ・住所・所属等の変更は、学会公式サイト「会員ページ」をご利用ください。
同封の振込票に記載されても、変更について承ることができません。

6. 学会費の納入

- ・同封の振込票は【大会参加費専用】です。学会費は納入できません。また、大会会場での学会費納入は受け付けません。

7. 出張依頼状

- ・氏名・職名・提出先(所属長名)を明記の上、ポータルデスクへメールでお申し込みください。

8. 会場について

- ・キャンパス内は、全面禁煙です。ご不便をおかけし、申し訳ありません。
- ・キャンパスには駐車場がないため、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- ・大会期間中、学内の食堂、コンビニエンスストアは営業していません。

9. Wi-Fiについて
- ・会場内での Wi-Fi 接続サービスについて、eduroam 加盟機関に所属する高等教育機関や研究機関からの参加者は、事前に所属機関でアカウントを取得しておくことで、eduroam をご利用いただけます。アカウント取得は、所属機関の担当者にお問い合わせください。
 - ・eduroam 加盟機関にご所属でない参加者には、学内 Wi-Fi のゲストアカウントを発行いたします。当日会場受付にてお申し込みください。
10. 宿泊について
- ・各自で早めにご予約ください。
11. 交流広場
(フリースペース)
- ・以下の要領で交流広場を開設します。研究者相互の交流・情報交換の場としてご活用ください。
- 用途：**博士論文要旨・論文抜刷・研究プロジェクト報告書等の展示や配布、研究会・学会等の紹介、会誌等の展示や配布・販売など。
- 資格：**本学会員に限る。団体の場合は、本学会員が代表者であること。
- 申込：**氏名（団体の場合は団体名および代表者名）・連絡先の住所・電話番号・メールアドレス・展示物等の内容について、5月29日（金）までに大会実行委員会へメールでお申し込みください。
- 注意：**スペースに限りがあるため、申し込み先着順で受け付けます。広場には、机と椅子を用意します。それ以外の対応はしません。当日は、受付で利用手続きをしてください。交流広場は大会開催中開場します。利用時間は任意です。出品物の持ち込み、管理は各自で行い、終了後はすべて持ち帰ってください。
12. 臨時託児室
- ・以下の要領で臨時託児室を開設します。
- 日時：6月27日（土）12:30～17:40、28日（日）10:00～16:00
 対象：0歳3か月～12歳まで
 運営：シッターサービス LIBERTY
 料金：大会実行委員会へお問い合わせください
 申込：保育対象者の人数・年齢・利用日および時間帯を明記し、5月29日（金）までに大会実行委員会へメールでお申し込みください。折り返し、詳細な手続き等をご案内します。
13. 問い合わせ先
- ・大会全般に関すること
中古文学会事務局
〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1
東北大学大学院文学研究科 横溝博研究室内
E-mail：info@chukobungakukai.org
 - ・参加申込、参加費納入、出張依頼状に関すること
中古文学会ポータルデスク
〒134-0015 東京都江戸川区西瑞江 4 丁目 21-28 株式会社新典社内
E-mail：info@chukobungakukai.org
 - ・会場、交流広場に関すること
中古文学会大会実行委員会
〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3 丁目 10-2
国際基督教大学教養学部 ERB220 園山千里研究室内
E-mail：sonoyama.senri@icu.ac.jp

大会プログラム

会 場 国際基督教大学 三鷹キャンパス

【シンポジウム】 デイツフェンドルファー記念館講堂

【研究発表会】 トロイヤー記念アーツ・サイエンス館 T-171 教室

【休憩室】 トロイヤー記念アーツ・サイエンス館 T-229 教室

【委員会】 トロイヤー記念アーツ・サイエンス館 T-364 教室

【書籍販売】 トロイヤー記念アーツ・サイエンス館 T-270 教室

【交流広場】 トロイヤー記念アーツ・サイエンス館 1階 Hub Central

懇親会会場 国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス・大学食堂

第1日 6月27日(土)

12:30	受付開始
13:00-13:05	開会の辞 国際基督教大学学務副学長 エスキルドセン・ロバート
13:05-17:20	<p>シンポジウム グローバリゼーションの波を経てみえてくる人文学研究の未来 Amidst Tides of Globalization: The Emerging Future of Humanities Scholarship</p> <p>趣意説明 国際基督教大学 園山千里</p> <p>〔報告①〕 ゆさぶり、不安定化させることの愉楽 ——古記録から—— 国際日本文化研究センター 中丸貴史</p> <p>〔報告②〕 中古文学を世界中に発信する ——多言語翻訳の意義、課題、可能性—— 公立小松大学 フィットレル・アーロン</p> <p>〔報告③〕 相互理解のための日本文学研究 ——〈文学交流〉研究を通じて—— 青山学院大学 小松靖彦</p> <p>……休憩 (14:45-15:50) ……</p> <p>コメンテーターと登壇者による対話 国文学研究資料館 ノット・ジェフリー</p> <p>パネリストの討議・フロアとの質疑応答 <モデレーター> 園山千里</p>
18:00-20:00	懇親会

第2日 6月28日(日)

10:00	受付開始
10:30-11:50	研究発表会 〔研究発表①〕 幻巻における光源氏の孤絶と終焉の方法 ——仏名会と最終詠を中心に—— 早稲田大学〔院〕 吉野 誠 〔研究発表②〕 『源氏物語』玉鬘巻の九州親子国司任命の異様 横浜隼人中学・高等学校 浜田賢一 ……休憩(11:50-13:30)・委員会(12:00-12:40)……
13:30-14:50	〔研究発表③〕 三条朝における『枕草子』享受 ——道長の思惑と中関白家の内情—— サレジオ工業高等専門学校・二松学舎大学〔非〕 大貫正皓 〔研究発表④〕 河内本十三帖の非古態性 ——賢木巻少女巻高松宮本本文の検討を中心に—— 富山大学 田村俊介
14:55-15:45	総会
15:45-15:50	閉会の辞 中古文学会代表委員 横溝 博

※中古文学会春季大会の開催に合わせ、国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館を6月27日(土)に特別開館します。開館は午前10時～午後4時、入館料は無料です。

グローバリゼーションの波を経てみえてくる人文学研究の未来
Amidst Tides of Globalization: The Emerging Future of Humanities Scholarship

趣意説明

国際基督教大学 園山千里

〔報告①〕 ゆさぶり、不安定化させることの愉楽 ——古記録から——

国際日本文化研究センター 中丸貴史

〔報告②〕 中古文学を世界中に発信する ——多言語翻訳の意義、課題、可能性——

公立小松大学 フィットレル・アーロン

〔報告③〕 相互理解のための日本文学研究 ——〈文学交流〉研究を通じて——

青山学院大学 小松靖彦

コメンテーターと登壇者による対話

国文学研究資料館 ノット・ジェフリー

パネリストの討議・フロアとの質疑応答

〈モデレーター〉 園山千里

【趣意】

文学・文化・社会・政治・経済・環境などのあらゆる分野が、国や地域の垣根を越えて相互に影響を与えていくことを意味するグローバリゼーションをテーマとする。かつて、15世紀から16世紀にかけて展開された大航海時代には、ヨーロッパ勢力の進出によって世界の縮小ともいえる一体化が進んだ。ある発達により、国境を越えた貿易が盛んになったように、現在ではインターネット技術の発展により、世界中の人々と情報や意見の交換が瞬時に可能になりつつある。まさに、グローバリゼーションは世界というシステムにおいて、停滞することのない増大を続けるダイナミズムである。その中で、人文学研究はどのようにグローバリゼーションの波を受けて、未来に向かっていくのだろうか。本シンポジウムでは、「中古文学」におけるグローバリゼーションについて語り合う。

グローバリゼーションに興味がなかったとして、実はあらゆる局面でグローバリゼーションの影響を受けているのが現代である。混沌とした世界情勢が続く今、人文学研究もグローバリゼーションの波及を受けているが、その内実はどうなっているのだろうか。そして、どのような将来が待ち受けているのだろうか。グローバリゼーションが進むことによって、表現の多様性が生じたり、文化の融合によって異文化理解が可能になったり、一方で文化的均質化によって普遍性が高まり、地域特有の価値観を共有することが難しくなることもある。1990年代初めには、グローバルな現象とローカルな現象は相互に関連しながら影響を及ぼす

という「グローカリゼーション」という捉え方も誕生した。刻々と変化する時代の中で、日本古典文学のグローバリゼーションに真摯に向き合いたい。

本シンポジウムでは、東アジア漢文文化圏だけでなく世界に古代日本文化の地平を拓く可能性、多言語翻訳からみえてくることばの世界、さまざまな国や地域で交流によって見出すことができる日本古典文学の実態について、国内外の立場や視点から話し合う。

未来への不安と将来を予見したい願望が入り混じるこの世の中で、個々人が「中古文学」との向き合い方についてあらためて考え、対話や交流を通じて人文学の未来を見つめ直す機会になることを希求する。 (園山千里)

【報告】

① ゆさぶり、不安定化させることの愉楽 ——古記録から——

中丸貴史

学問は既成概念をゆさぶり、人文学は人の心をゆさぶる。ゆさぶれば、それは不安定化する。孤塁を守るため、「安定」に絶対的な価値を与えることは、学問的態度とは言い難い。同時に、格差が広がり、疲弊した人びとにとって、グローバリゼーションはあまりにも刺激的だった。よってその反動ともいえる現象が、日本はもちろん世界各地で起きている。そうしたなかで人文学はいかにあるべきか。本報告では、平安朝のテキストを古記録から読み解くことでみえてくる人文学の未来と可能性について考えてみたい。

② 中古文学を世界中に発信する ——多言語翻訳の意義、課題、可能性——

フィットレル・アロン

国際社会の中、それぞれの国と地域の文学・文化を理解し合い、自国の文化を世界中に発信することの重要性が増してきている。その中、中古文学の海外における受容について調査・研究し、伝達と発信の可能性について考える必要がある。報告者は日本古典文学の複数の外国語訳について研究し、和歌などのハンガリー語への翻訳も行っている。また、二〇二〇年度に立ち上げた和歌の多言語翻訳研究会「世界の中の和歌—多言語翻訳を通して見る日本文化の受容と変容—」の主催者の一人でもある。本報告では、中古文学の外国語訳、およびその研究と実践の必要性について確認し、多言語翻訳を比較することの意義と今後の翻訳の在り方について、具体例もあげて考察する。

③ 相互理解のための日本文学研究 ——〈文学交流〉研究を通じて——

小松靖彦

世界的に分断が急速に進む中、文学研究には何ができるか。この問いに応ずるものに、〈文学交流〉研究がある。〈文学交流〉研究は、異なる言語・文化を背景とする文学が交わる中間領域を〈双方向〉的に捉えるものである。これによって異文化間の相互理解を深めるとも

に、それらを掛け合わせて〈多方向〉的理解へと向かい、人間の普遍的問題を考察する。日中の文学が交わる平安文学は〈文学交流〉の宝庫である。本報告では、〈文学交流〉研究の方法を提示し、それを和漢様式の文学や平安時代の『萬葉集』古写本などに応用する。さらに、平安文学をはじめ日本文学を、海外の人々とともに、相互理解を深めながら研究を進めるための具体的道筋を提案したい。

研究発表要旨

6月28日(日)

〔研究発表①〕

幻巻における光源氏の孤絶と終焉の方法 ——仏名会と最終詠を中心に——

早稲田大学〔院〕 吉野 誠

『源氏物語』幻巻の最終盤、仏名会の場面については、仏名会の和歌の定型との関係、梅を挿頭す行為、また導師との贈答や関係性などを論点とし、光源氏の老いや救済・非救済の問題を示すものとする先行研究がある。しかし、この場面の表現にはなお指摘すべき独特の特徴があろう。光源氏が挿頭そうと言ってみせる「色づく梅」なる表現は、同時代までの和歌にほぼ見えない。導師の返歌は逆に光源氏の孤絶を際立たせ、和歌中の褒辞「花」は紫の上に関わって幻巻の鍵語であった。また直後の光源氏最終詠「もの思ふと」歌にも、幻巻の他の和歌表現との連関を思わせる語が用いられる。

本発表ではこれらの、定型を踏むようで他に見えない表現、また幻巻のこれまでの展開を呼び起こす表現に着目し、その特質を明らかにして定位を図る。それは紫の上亡き後の孤絶の果てに到達した光源氏の独自の心のありかを、女三の宮や明石の君といった女君たちとの関わり、ひいては他者そのものとの関わりを参照させながら示してゆく、方法的なものとして位置づけられよう。

さらに言えば、萩原広道は桐壺巻の長恨歌引用に幻巻との「照応」を見たが、仏名会の仏教者による花の賛嘆や、最終詠の『伊勢物語』終焉章段との通底からは、若紫巻との照応の可能性を見出せないか。光源氏一代という枠組を敷設しながら、孤絶と終焉の予感をもって光源氏の物語を語り収める、その様相と意義についても言及を試みたい。

〔研究発表②〕

『源氏物語』玉鬘巻の九州親子国司任命の異様

横浜隼人中学・高等学校 浜田賢一

『源氏物語』の少式・豊後介親子は同時期に九州国司となつたらしい。少式の死後、彼の旧

任地・筑紫では人間関係の問題等があったりして帰京できずにいた。それでも、豊後介一行が本土に近い豊後に移る兆しはなく、肥前に逃れる。豊後介もその頃には任を解かれていたのだろう。

さて、『国司補任』を再整理すると史実の九州国司において、親子が同時期任命を受けたという平安前・中期頃の事例は特例めいた一例のみだ。また、同時期に親子が九州国司に任命されぬようになされたと思しい人事例も散見される。選叙令に同一国での親子人事の禁があるが、その九州一円版といった様相だ。縁の強い間柄である親子が同一地方の国司となれば、軍事貴族のような都外の勢力を築かれかねず、極力避けられたのだろう。また、親子の国司任命時期がずれた少弐の実例では親の影響力が低下するであろう頃、平均して約28年後に子息の九州人事はなされる傾向だ。件の少弐・豊後介親子の任命時期が多少ずれていたとしても、その人事は異様であった。

この稀有な人事がなされた要因には、少弐が光源氏になした「罷申し」があらう。それは、人事で世話になった相手への就任報告とされる。桐壺帝は光源氏に甘く、彼が帝に頼めばそういう人事もなしえたのだろう。それをもって、夕顔怪死の露見に関与しそうな少弐一族を九州に追いやって口封じをなした。その強行ゆえに、異色の少弐親子九州人事がなされたのだ。

〔研究発表③〕

三条朝における『枕草子』享受 ——道長の思惑と中関白家の内情——

サレジオ工業高等専門学校・二松学舎大学〔非〕 大貫正皓

『枕草子』(以下、本作)は中関白家の文芸と評されつつも、作中には中関白家と対立の関係に在った藤原道長に関わり深い人物(藤原齊信・藤原行成・源経房・源成信など)が登場する章段が少なからず確認される。本発表では、本作が道長女妍子の後宮で享受されていた可能性を示す中西智子氏の見解(「騒がしい女房たち——『枕草子』と『栄花物語』妍子方の描写の共通性から——」『日本文学』第七四卷第一号 二〇二五年一月)を踏まえ、右記章段が作中に一定数見られる状況は、本作の享受が、三条朝における妍子の後宮に関わる実情に起因する可能性を提示する。

具体的には、まず齊信・行成・経房・成信らが作中の多くの場面で作者と親密な間柄にある存在、また高く評価される存在として描かれていることを確認し、その現象は道長の孫敦成親王立太子後、外戚政策が一旦の落ち着きをみたことに伴い、道長が自家の枠を越え、作者に本作の増補を要請した結果とみる見解を示す。

次に、道長に関わり深い人物が、作中の定子登場章段に多く描かれていることに着目し、そのことは前述の増補を含む本作の享受の場が、定子の話題を興味深く享受し得る妍子の後

宮であることと不可分の関係にあるとの推測を示す。

最後に、跋文に登場する経房の官職表記・当時の中関白家当主隆家との関係に触れ、三条朝期に道長一門に関わるかたちで本作が享受されたとみる推測の妥当性について検討する。

〔研究発表④〕

河内本十三帖の非古態性 ——賢木巻少女巻高松宮本本文の検討を中心に——

富山大学 田村俊介

尾州家本は古写の巻が 41 帖、伝清水谷実秋筆の補写の巻が 13 帖。古写の巻の初期 11 帖については、前拙稿「河内本源氏物語の改竄—尾州家本古写巻初期十一帖を中心に—」（『富山大学人文科学研究』83 号。2025 年 9 月）で、青表紙本系大島本（以下、大と略称）と比べて非古態性を持つことを述べた。尾州家本が補写である巻については、河内本の代表として高松宮本（以下、宮と略称）を用い、第 10 帖賢木巻、第 21 帖少女巻が非古態性を持つことを本発表で明らかにする。

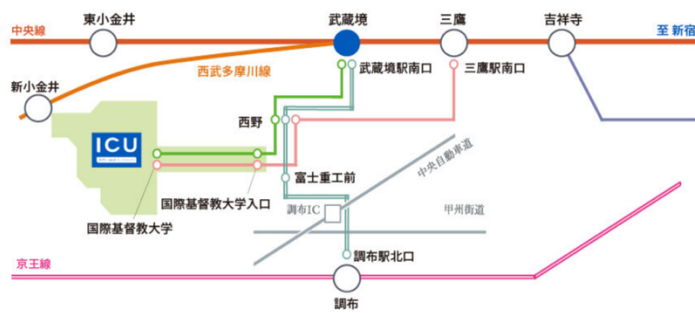
賢木巻については、大で形容詞「見苦し」「若々し」が並列している箇所、「つつまし」（のウ音便連用形）という本文（宮 4 オ～ウ）、大で形容詞「なまめかし」「女し」が並列している箇所、「うつくし」（の連体形）という本文（宮 32 ウ）に着目する。

少女巻については、「つましるしのこゝちす」（宮 10 オ 9 行目）という本文に着目、その他、陸機の文章を頭中将が口ずさむ場面等にも触れる。

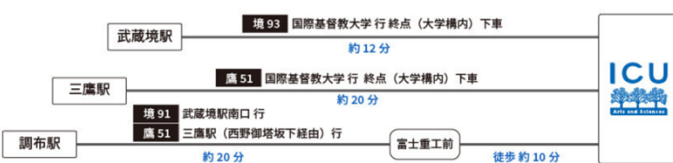
私は、青表紙本が、紫式部の原本に近いものだと考えている。横溝博氏も、「平安時代の『源氏物語』本文」（『新時代への源氏学』7 所収）で、定家が目の前にある『源氏物語』の写本を見て「校訂を加えようにもなかなか手強く、優れたテキスト」だという認識を持ったという認識を示している。

■ アクセスマップ ■

最寄り駅からICUまでのアクセス



最寄り駅からICUまではバスをご利用ください。



↓ アクセスマップ PDF ↓



■ キャンパスマップ ■

ICU 国際基督教大学
INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY

Artes of Scientific

CAMPUS MAP

↑ 懇親会会場

シンポジウム会場

ディフENDOR記念ホール (東棟)
Diffendorfer Memorial Hall (East Wing)

研究発表会場

トロイヤー記念アーツサイエンス館
Troyer Memorial Arts and Sciences Hall

- 1 大学本館 University Hall
- 2 トロイヤー記念アーツサイエンス館 Troyer Memorial Arts and Sciences Hall
- 3 図書館 Library
- 4 ミッドレットトップ・オスマー図書館 Midred Topp Othmer Library
- 5 理学館 Science Hall
- 6 教育研究棟 Education and Research Building
- 7 第2教育研究棟 Education and Research Building II
- 8 総合学習センター Integrated Learning Center
- 9 博物館 湯浅八郎記念館 ICU Hashiro Yuzasa Memorial Museum
- 10 体育館・セントラルロッカー Physical Education Center/Central Locker Building

- 11 スポーツクラブハウス Sports Clubhouse
- 12 A グラウンド Ground
- 12 B フィールド Field
- 13 ディフENDOR記念ホール (東棟) Diffendorfer Memorial Hall (East Wing)
- 14 ディフENDOR記念ホール (西棟) Diffendorfer Memorial Hall (West Wing)
- 15 大学礼拝堂 University Chapel
- 16 シーベリー記念礼拝堂 Seabury Memorial Chapel
- 17 大学食堂 University Cafeteria
- 18 東ヶ崎澤記念ダイアログハウス Kiyoshi Togasaki Memorial Dialogue House/International Conference Room
- 19 カウンセリングセンター Counseling Center
- 20 本部棟 Administration Building
- 21 アラムナイハウス Alumni House
- 22 学生寮 Student Dormitories
- 23 教職員住宅 Faculty and Staff Residences
- 24 泰山荘 TAIZANSO
- 25 ユリーカハウス EUREKA HOUSE
- 26 国際基督教大学高等学校 ICU High School

11

[別紙]にてご案内したものと同内容を掲載しています

大会参加申込方法の変更について

今大会より、事務作業の効率化と正確性の確保のため、大会への参加申込方法を変更することになりました。つきましては、大会参加申込フォームよりお申し込みのうえ、同封の振込票によるご入金をお願いいたします。どうぞご理解ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

なお、いずれも〆切は [2026年5月29日(金)] となります。

1) まず、大会参加申込フォームにてお申し込みください。

以下のQRコードよりお申し込みが可能です。



※中古文学会公式サイト「大会参加申込フォーム」からもお申し込み可能です。

2) 1にてお申し込み後、同封の振込票に必要事項をご記入の上、ご入金ください。

[加入者名] 中古文学会大会実行委員会

[口座番号] 00240-3-99727

- ・参加費（資料集代を含む）：現地参加、録画視聴いずれも 1,000 円
- ・懇親会（1日目）：一般会員 9,000 円、学生会員 4,000 円
- ・昼食代（2日目）：1,500 円

※入金された参加費の自己都合による返金、または他の参加者への付け替えなどには応じられません。

※領収書は、振込受領証に替えることとし、基本的に別途発行いたしません。